

【家庭数配布】

都留文科大学附属小学校・学校だより

第5号 R1.7.22

校長室の窓辺より

都留市大野396 電話 0554(43)2336

校長 深澤 秀興

1学期、無事に終了

歴史に残る、長い梅雨となりました。保護者、地域の皆様方には、いかがお過ごしだったでしょうか。

本校では、明日7月23日（火）に終業式を行い、71日間に渡る1学期を、無事に終わることが出来そうです。これもひとえに、保護者の皆様、スクールガードを始めとする地域の皆様方のお力添えがあったからこそ、感謝申し上げる次第です。

さていよいよ、8月21日（水）まで、30日間の夏休みに入ります。この間、子どもたちは生活の場を、学校から家庭・地域へと移します。子どもたちには、事件・事故に遭遇しないように、また万が一困った事態に出会ったらどうしたらよいかを、休み前に指導しました。しかしそこはまだ小学生。どうか子どもたちが安全の中に楽しく充実した夏休みを過ごすことができますよう、引き続き保護者・地域の皆様方の見守りと御指導を宜しくお願いいたします。



個性の発露・“ライブ”開催される！！

18日（木）に、中休みと昼休みを使って、放送委員会主催の“ライブ”が催されました。この“ライブ”，いわゆる学年ごとの音楽発表会でなければ、子どもたちがふざけて適当に何かを発表するというものでもなく、真面目な雰囲気の中にも柔らかい内容の発表会となりました。また、個人での発表もあれば、グループでの発表もあり、クラス全員での発表もありました。

9つの演目と出演は次のとおりです。①1年生、パプリカ（レインボー7）②3年生、絵をかく（小俣みゆ）③3年生、リコーダー（長谷川あみ・小俣ゆあら）④5年生、ダンス+コント（TTクラス）⑤4年生、マジック（4年マジックショー）⑥4年生、リコーダー（ようきな4年生）

⑦6年生、合奏（ラバース コンチェルト）⑧2年生、歌（楽しいワクワク2年生）⑨2年生、うた・ダンス（恋するフォーチュン・クッキー）

まず、何をするかを考え、決める。ある者はコントをし、またある者はダンスをする。1人で全校の前で絵を描く者もいれば、マジックを披露する者もいる。家族で出向いたカラオケでの十八番であろう歌とダンスを披露する者もいれば、音楽で習ったリコーダーの曲を披露する者もいる。ある子は一人で、またある子は友達と。そしてあるクラスは先生との共演をはたす。

形にとらわれない、何と自由で、何とほほえましい“ライブ”だったか。まさしく、個性の発露としての、珠玉の“ライブ”でした。放送委員会によると、今年度中に「もう1回ある」とのこと。みんな、もっと楽しもうおゼエ～！



■ 本は心の栄養 ■

「本は心の栄養」と昔から言われます。私自身、今でこそ抵抗感無くいろいろな本を読むようになりましたが、小学校の頃から読書好きだったかと問われると、心許ないところがあります。

学期末にあたり、いろいろな先生が、いろいろなまとめをしてくださり、その結果を子どもたちにフィードバックしてくださいます。

そんな中、図書館司書の中込とし子先生が、1学期に多くの本を読んだ子どもをまとめてくださいました。たくさん本を読んだ子どもは次のとおりです。ちなみに、()の中の数字は、1学期に借りた本の冊数です。

5年小俣理央さん(95) 3年奥脇健太さん(94)
3年杉本龍信さん(70) 3年長谷川英実さん(64)
3年小俣遥亜姫さん(61) 4年山本ろかさん(61) 2年奥脇菱世さん(60)
2年山本瑠花さん(60)

そこで早速、90冊以上の本を借りた小俣理央さんと、奥脇健太さんに、おすすめの本を紹介してもらいました。

小俣理央さんが紹介してくれた本は

はやみねかおる作『そして五人がいなくなる』講談社青い鳥文庫



【裏も御覧ください】

だそうで、理央さん曰く「この、青い鳥ミステリーシリーズはどれもおもしろい」とのことでした。

一方、奥脇健太さん御推奨の一冊は

朝日中高生新聞編集部編 『大人になったらしたい仕事 「好き」を仕事にした35人の先輩たち』

だそうです。健太さん曰く、理央さん同様に、「この、大人になったらしたい仕事シリーズは、どれもおもしろい」とのことでした。

日本の学校教育全体が、キャリア教育への取組を求められている今、「小学校3年生にして、この本を薦めるか」と驚かされます。ちなみに、健太さんが「大人になったらしたい仕事」は……。立場上知り得たことは、お話しできません(笑)。



● せいけつマン&せいけつレディー ●

本校では毎月1回、ハンカチ・鼻紙を持っているか、つめをしっかりと切っているか、顔を洗い、歯を磨いてきたか、上履きをしっかりと洗って持ってきたかの6項目をチェックする「せいけつ検査」を行っています。

1学期も、抜き打ち検査を含む4回、検査を実施しました。そして、常に検査項目全てをクリアした子どもに、「せいけつマン&せいけつレディー認定書」授与しています。

7月10日の「朝のつどい」の折、次の7人の子どもに、養護教諭の佐藤明美先生から、「せいけつマン&せいけつレディー認定書」が授与されました。

1年生 曾根帆乃華さん 松本凜さん

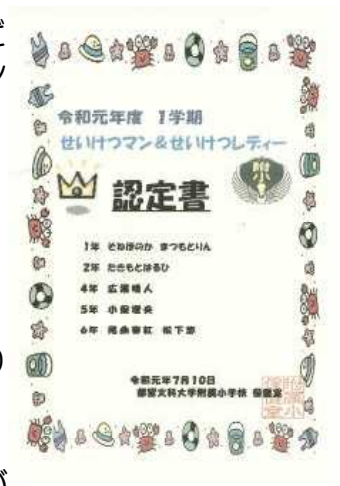
2年生 瀧本はるひさん

4年生 廣瀬晴人さん 5年生 小俣理央さん

6年生 尾曲春紅さん 松下悠さん

いよいよ夏休み。24日からは、保護者の皆様、学級担任・養護教諭の務めをしていただくこととなります。

心身の健康は、規則正しい生活の上に成り立ちます。生活リズムを崩すことなく、また、せいけつな生活が送れますよう、見守りと御指導をお願いいたします。



● 学校で、何を学ぶか ●

先日、3年生を社会科見学(都留市まちづくり交流センター、市立図書館、都留消防署の3か所を訪問)に、担任の鈴木恵介先生と引率しました。そして、学校が子どもに指導すること、逆説的に言うと、子どもが学校教育で学習することについて、改めて考える機会を得ました。

学校が全ての子どもに、一様に教科書に記された内容をしっかりと指導すること、このことは学校の努めとして絶対的なことであることは言わずもがなです。

社会科と聞くと、多くの方々が口をそろえて、「暗記する勉強だ」とおっしゃいます。実のところ、地理的なこと、歴史的なこと、そして公民的なことを覚えねばならないことも事実ですが、それだけでなく、見学に基づいて気づき、考えることも非常に重要な学習です。今回の学習でいうと、私たちの文化的で快適な生活は、多くの人たちの努力によって支えられているということに気づき、考えることも大きな学びの内容です。

併せて公共性と言うこと。私の両親に言わせると「人の集まる場所では静かにする等と言った公共性は、学校で教えることではなく、家庭で教えることだ」などと言いますが、電車の中や公立図書館、病院などでの子どもたちの様子を見ると、そうばかりも言っていないのではないかと思います。

そこで、今回は見学の事前学習で、集団社会のルールとして、この公共性について具体的に学ぶ時間を設定しました。

その学習成果が試される実際の社会科見学。子どもたちは他の利用者に配慮しながら、お行儀良く社会科見学を行いました。そればかりか、杉本龍信さんにいたっては、歩きながらメモをとるなど熱心に見学を行っていました。

とても充実した社会科見学となりました。



天候不順な折、皆様どうぞ御自愛ください。

夏休み 7月24日(水)～8月21日(水)
2学期始業式 8月22日(木)